

## 古場正春議員の 不穏当発言に関する 調査特別委員会中間報告

平成18年3月16日、古場正春議員の不穏当発言に関する調査特別委員会を開催した。

当日、被調査人として、長谷川市長と古場議員から意見陳述がなされた。

審議に入る前に当委員会の運営方針について確認が決議された。これは、議長からの「真実に基づいた発言をお願いします。」との古場議員への再三再四の要請の趣旨を調査の基底として、両人から意見等を伺い、早急なる議会の混乱解消や八街市議会並びに八街市政の信用回復に資するものである。

**長谷川市長からの意見陳述の概要は次のとおりでした。**

**委員長** 行政改革を柱とする節減の成果の一環として、今回の古場議員が取り上げているスポーツプラザ緑地保守管理業務や広報誌印刷などの経費が年々節減が図られたと認識している

が、これらの経緯について、伺う。

**長谷川市長** スポーツプラザの管理は、当初、芝や植木も植えたばかりで、雨が降ると傾斜地で歩道に泥の砂の流出とか、木々の肥料とか、いろんな管理が多かった。これについては再三、議会で答弁しているとおりのです。その後そういう芝や木々のそういう手入れの必要がなくなり、事業量が減り、また一部シルバー人材センターに委託をしたことが、設計単価が安くなった原因である。

また広報は、一時期は委託でやってが、その後、コンピュータが普及し、版下などを市の職員がコンピュータで作成したこと、競争入札で入札によって決定したこと、紙の質を下げたこと、ページもいろいろ検討して少なくなると、そんな工夫によって積算価格が安くなった。

**委員長** 「スポーツプラザ緑地保守管理業務の委託価格で側近に利益誘導した」との古場議員の発言について、どのように思うか。

**長谷川市長** 全くそんなことはない、非常に不可解でもあるし、私はそのことによつて、まだ調査委員会の結果は出ないが、結果次第では非常に名譽を傷つけられたというようなことで、非常に憤慨している。

**委員長** 「5千万くらいの儲けをもらったのか」というように、

そういうあれもあるのですよ。「これは儲けの半分でももらったのか。」という古場議員の発言について、どのように思うか。

**長谷川市長** そんなようなことはございません。

**委員長** 「前からいろんなうわさ、うわさ、黒いうわさだなんだと、いろんなことを聞いておるので、まあ、これがうわさなんです。うわさとして聞いている。」との古場議員の発言について、どのように思うか。

**長谷川市長** 私は議会議員たる人が、神聖なる議場の場で、うわさ発言をするということには非常に残念でもあるし、議員としての資質を疑うわけでもないです。そういうことで、この件については、私から議長さんにもお願いをしたとおり、徹底的に調査をして、明らかになるようにお願いいたします。

**委員長** これら一連の古場議員の発言について、自らの名譽回復、信頼回復のために、どのようになされるか。

**長谷川市長** 自らの名譽回復は名譽回復として、私もこれは名譽毀損も考えているけれども、しかしながら議会の議員が議場での発言ですので、これはやはり議会の中で、そしてまた議会の議長さんの指示で、調査委員会もできたわけですから、調査委員会の中で私の名譽を回復するような結果を出していただくことを願っております。

次に、被調査人の古場議員からの意見陳述は、次のとおりでした。

**委員長** 後日のために記録をとりますことを了承してください。また、伺う中で話したくないことや、自分に不利益なことと仮に思うことがあれば、お話しただかなくても結構です。

そこで、スポーツプラザ緑地保守管理業務の委託料の推移はどのようになっているのか。また、その推移をどのように分析しているのか。

**古場議員** これは、業者の皆様いろいろな話を総合した上でのことである。

**委員長** 広報誌の印刷等業務委託料の推移はどのようになっているのか。また、その推移をどのように分析しているのか。

**古場議員** 印刷は、私はもともとやっており、プロであり、自分なりの見積もりとか、それから製版とか、いろんなものを計算したら、そういう高い金額ではないとを自分自身で判断した。

これは正確な数字ではないが、大体5年ぐらい前から、要は厳しくやれと、やれ、やれというようなことで、それでこんなに幅があるんだと、そういう話の中で何回か、聞いたことがありませんね。例えばこんなに高いんだと、これじゃあ1千500万円だったから、1千万円ぐらいが本当ほとんど儲かっているんじゃないかと。「これはどうですかね」と聞きまして、それは山分けしているんだというような話を何回も聞きましてね。それで、10年すると1億5千万です。その1億5千万というのは、そっくり儲かっているんじゃないですか。そういうのもみんな山分けだというような話を、2、3聞きましてね。日にちはデータなどとしてないの、わかりませんが、1回は食堂で聞きましてね。

それから、2、3回は電話の中で、電話も大体、ざっと計算しても150時間ぐらいは、これは料金上で調べればわかるが、その中で聞きましてね。

**委員長** 今回の発言で、「世論」とは、いつ、どこで、だれが形成しているものなのか、伺う。

**古場議員** これも、この提供者が世論の話として言えはいんだからというのを常に。僕の大先輩として、大先輩として、いろいろ伺ったわけです。そういうことで、世論、今度も何で世論と言わなかったのかと、世論が、世論がと言えはいんだと

古場議員 ここにも書いてありますけれども、週に2、3回、

いうことも4、5日前にも言われましたね。それで通せばいいんだということですね。

**委員長** 今回の発言で、「前から、いろいろなうわさ、うわさ、黒いうわさだなんだと、いろいろなことを聞いておるので、よ。」ということとは、どのようなことなのか。また、いつ、どこで、だれから聞いたのか、伺う。

**古場議員** うわさ、黒いうわさといいますが、去年かそこらに、そこあたり質問しましたら、取り下げてくれというので、家につく頃だったですかね、取り下げてくれという電話がありました。やはりそういうのも、いろんな話はこういう人から聞きまして、いつ、どこで、だれからと、そういうことはメモしてないので、わからないが、植木屋さんとか、そういう専門の印刷屋さんとか、そういう方の話の上で、「あれは高いよ」と、そういううわさもあるというと聞いていますね。

**委員長** この発言の中の黒いうわさとは、どういうことなのか。

**古場議員** これは、質問に対して取り下げをしたときの話である。取り下げたのは、ちょっと覚えていないが、何月だったですかね。焼却炉の件での黒いうわさというふうな話だったと思いますね。

**委員長** 本議会で、議長から